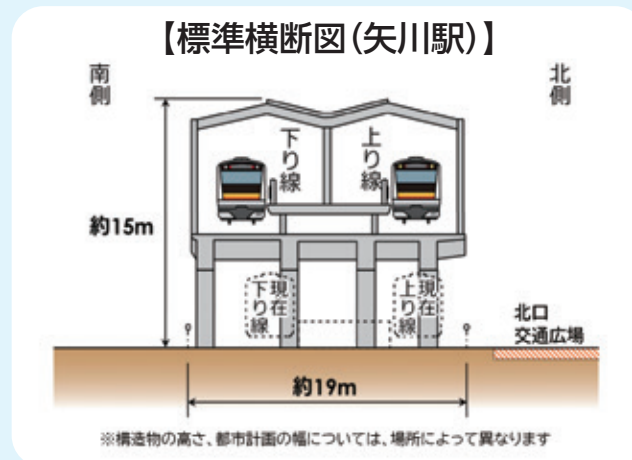


(参考)JR南武線連続立体交差化計画について

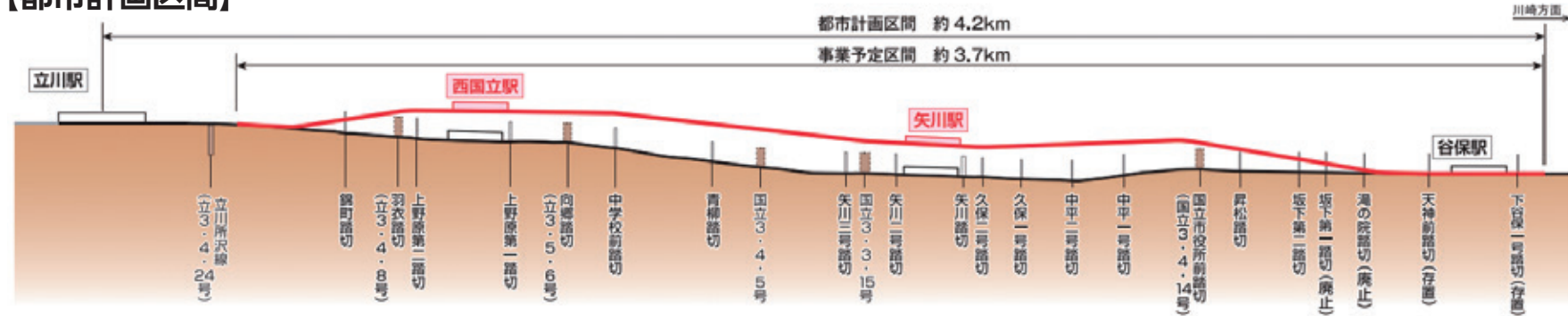
現在、JR南武線谷保駅から立川駅間の連続立体交差化計画の検討が、東京都を主体に進められ、令和5年には都市計画の素案説明会が開催されました。

鉄道と他の交通手段をつなぐ交通広場は、JR南武線連続立体交差事業と密接な関係になっています。



- ▶高架構造物の地上からの高さ：約15m
- ▶都市計画の幅：約19m
- ※構造物の高さ、都市計画の幅は、場所によって異なります。

【都市計画区間】



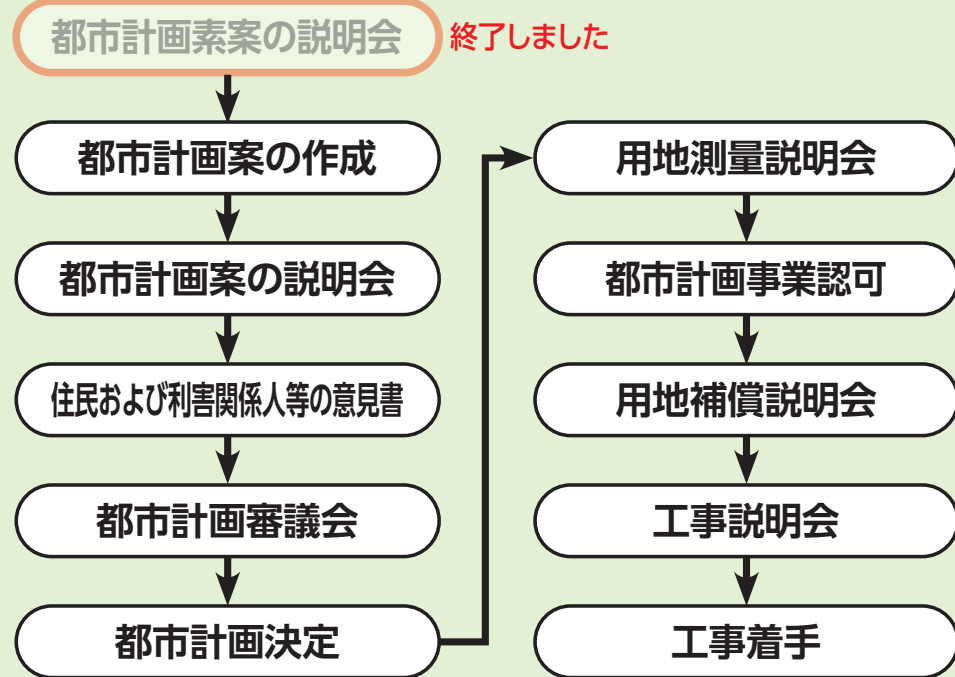
連続立体交差化計画の事業を予定している区間は、JR谷保駅付近から立川通り付近までの、約3.7kmです。都市高速鉄道として都市計画を定める区間は、この事業区間を含む、JR谷保駅付近から立川駅までの、約4.2kmです。

今後の進め方

都市計画素案の説明会は、5月23日・24日に実施しました。今後、意見募集（パブリックコメント）も実施し、皆さんからのご意見を参考に、都市計画案を作成します。

案の作成後は、公告・縦覧により、市役所にて公開するとともに、都市計画案の説明会を開催します。その際、ご意見のある方は、都市計画案に対する意見書を提出することができます。

その後、都市計画審議会において審議を行い、その議決を経て、都市計画決定を行います。都市計画が決定したのち、用地測量説明会を行い、都市計画事業として事業認可を取得します。その後、用地補償説明会、工事説明会を行い、工事に着手します。



意見募集(パブリックコメント)を実施します

「矢川駅南口駅前広場(交通広場)等の都市計画素案」について、意見募集を実施します。意見募集は、都市計画素案に対し、広く市民の皆さんからご意見をいただき、よりよい計画とするために行う市民参加の手続きです。

▶意見募集期間

7月5日(土)～25日(金)

▶閲覧場所

市役所(1階情報公開コーナー、3階^問の窓口)、北市民プラザ、南市民プラザ、国立駅南口にたち・こくぶんじ市民プラザ、公民館、中央図書館、市ホームページ

▶提出方法

①住所②氏名を明記のうえ、^問まで郵送、ファクス、メール(sec_nanbuseibi@city.kunitachi.lg.jp)または^問の窓口まで



▲市ホームページ

※いただいた意見は、個人が特定できない形で公表する場合があります。意見に対して個別の回答はしませんが、ご了承ください。
※意見のうち、個人または法人その他の団体の権利や利害を害するおそれがある情報等が含まれる場合は、その全部または一部を公表しません。

7月5日号(第1393号)
令和7年(2025年)

学び挑戦し続けるまち ともに歩み続けるまち 子育てみ続けるまち 文教都市くにたち

市報 **くにたち**

特集号

矢川駅南口駅前広場(交通広場)等の都市計画について

042-576-2111(代表)
FAX 042-576-0264

〒186-8501 東京都国立市富士見台2-47-1
編集・発行 都市整備部南部地域まちづくり課
ホームページ <https://www.city.kunitachi.tokyo.jp>

スマートフォン等で左の二次元コードを読み取ると、市ホームページにアクセスできます。

矢川駅南口駅前広場(交通広場)と、道路の整備を検討しています

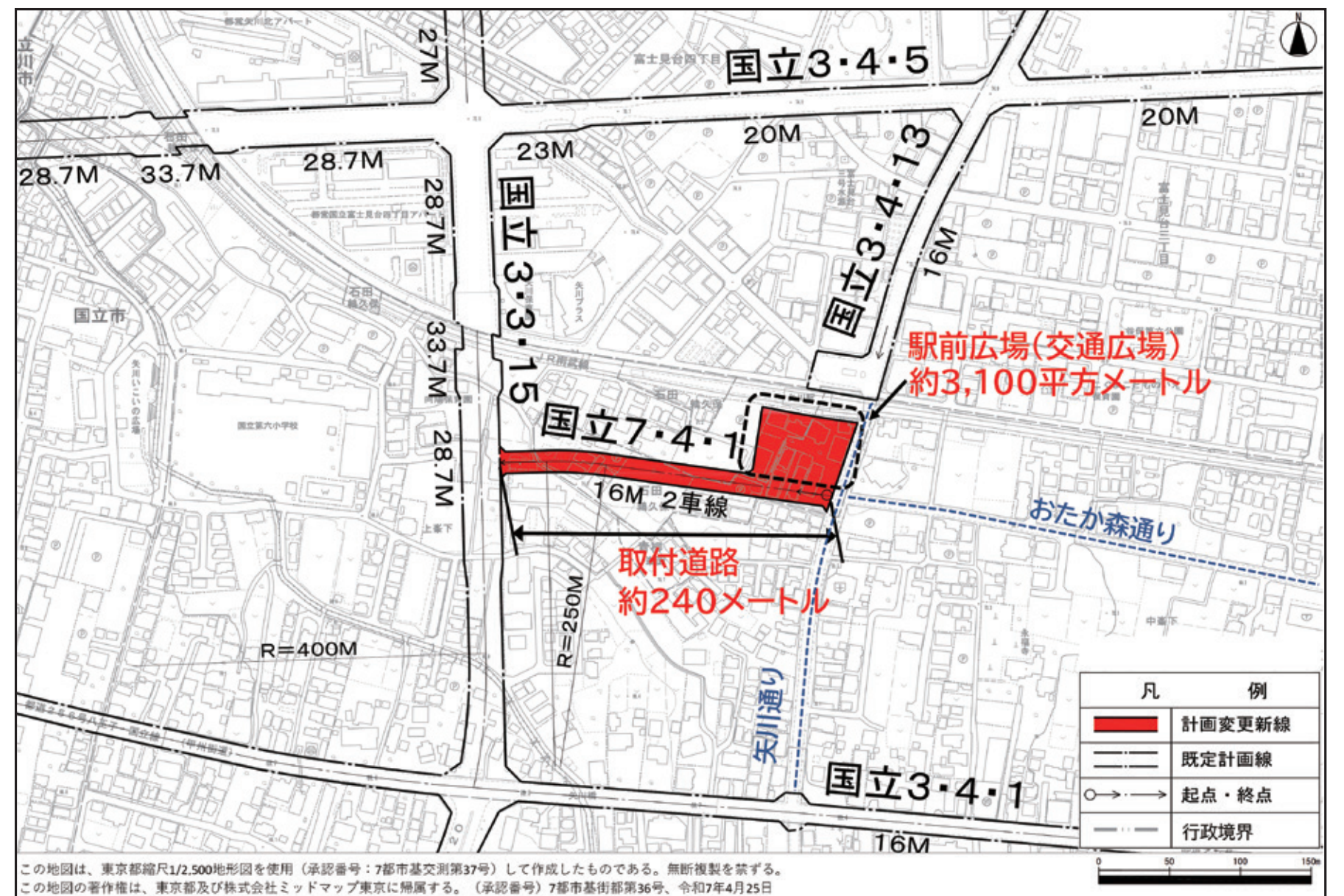
市では、JR南武線矢川駅周辺における歩行者・自転車・バス・タクシー・自家用車等が、安全・円滑に駅や駅周辺の地域を利用し、災害時などには市民の生命を守る一時避難場所としても利用できる北口交通広場の改修、南口交通広場の整備、南口交通広場へアクセスする道路の整備を検討しています。

南口交通広場と、この広場へアクセスする道路を、国立都市計画道路7・4・1号とする都市計画の素案を作成しました。

※「交通広場」は「駅前広場」の都市計画上の用語です。※以下、交通広場へアクセスする東西方向の道路は取付道路と表記しています。

矢川駅南口駅前広場(交通広場)等の都市計画素案

国立都市計画道路7・4・1号鶯久保上峯下線(素案) 計画概要図



ポイント

- ①南口交通広場は、矢川通りに隣接して配置します
- ②自動車は、取付道路を経由し南口交通広場へ進入できます
- ③取付道路の整備により、対象区域内の東西の主要な交通ネットワークを確保します
- ④取付道路は、大型の緊急車両も通行できる幅員で、周辺地域の安心・安全が広がります
- ⑤取付道路とおたか森通りの沿道の土地利用の活性化が期待されます

- ▶道路の位置：国立市大字石田字 鶯久保～国立市大字谷保字上峯下(道路の東側が起点、西側が終点)
- ▶道路の延長：約240m
- ▶道路の構造：車線の数が2車線、道路の幅員は16m
- ▶その他：取付道路の一部として、約3,100㎡の交通広場を設置

1面～4面の内容については、^問南部地域まちづくり課計画整備係までお問い合わせください。

都市計画素案作成までの経過

国立市都市計画マスタープラン 第2次改訂版

国立市都市計画マスタープランは、住民の意見を反映し、市が自ら定める都市計画の方針を示した計画です。ここでは、JR矢川駅、JR谷保駅を中心とする周辺地域を、地域拠点に位置付けています。

南武線沿線まちづくり方針

鉄道が立体化された後のまちの将来像として、交通結節機能高める駅前広場の整備や、駅周辺へのアクセス道路の整備等を示しています。

矢川駅周辺基盤整備計画

交通広場などの基盤整備は都市計画事業で進めること、交通広場を矢川通りに隣接させることなどを示しています。

矢川駅南口駅前広場(交通広場)等の都市計画素案



矢川駅周辺の現状

JR矢川駅北口周辺

- 交通広場にはJR国立駅、JR谷保駅のようなタクシーの乗降場がない
- 停車車両や自家用車等の流入により、バスの通行が妨げられる場合がある(写真①)
- 矢川通りのバス乗車待ちの混雑から、付近の横断歩道の通行に危険が生じている(写真②)
- 朝夕の混雑時には、円滑な歩行者移動が妨げられる場合がある



①狭い交通広場の空間



②混雑する矢川通り



③JR矢川駅北口



④踏切の様子

JR矢川駅南口周辺

- 改札口へ行くには、踏切付近にある階段を利用する必要がある(写真③)
- エレベーターを利用するには、踏切を渡り北口まで行く必要がある
- 朝夕の時間帯は、駅周辺の矢川通りの歩道は歩行者・自転車が集中し、混雑する(写真④⑤)

JR矢川駅南側の周辺道路

- 防災や救命の観点から、消防車などの緊急車両が入れない狭あい道路がある
- 東西に円滑な移動ができる道路がないため、駅へのアクセスが困難である(写真⑥)



⑤踏切の様子



⑥道路幅員4m未満の道路

オープンハウス等での意見

交通広場、取付道路整備の検討にあたり、令和5年度にオープンハウス(まちかど報告会)、意見募集(パブリックコメント)、市民意見交換会(南区公会堂ほか4会場)、個別意見交換(自治会・町会・商店会・事業者)を実施し、皆さんのご意見を伺いました。



JR矢川駅で実施したオープンハウスの様子

●オープンハウス

- ・JR南武線連立事業とセットで広場整備を進めるべき
- ・タクシー乗り場がほしい
- ・バス停の機能は重要

●意見募集(パブリックコメント)

- ・狭あい道路を解消してほしい、緊急車両が入れない
- ・歩行者優先のゾーニングをしてほしい
- ・早期実現を希望する
- ・“季節を感じられる”道路沿いの木々がほしい

●市民意見交換会

- ・送迎用に何台か停められるスペースはほしい
- ・取付道路は安全性も重視してほしい
- ・バスの本数が少ない、便を増やしてほしい

●個別意見交換

- ・千鳥道に車が集中するので、東西道路がほしい
- ・電柱は、車との接触事故や景観に支障、無電柱化が良い
- ・北口のバス停により混雑が激しく歩行者が危険
- ・北口横断歩道を短くしてほしい

矢川駅南口駅前広場(交通広場)等の整備の概要

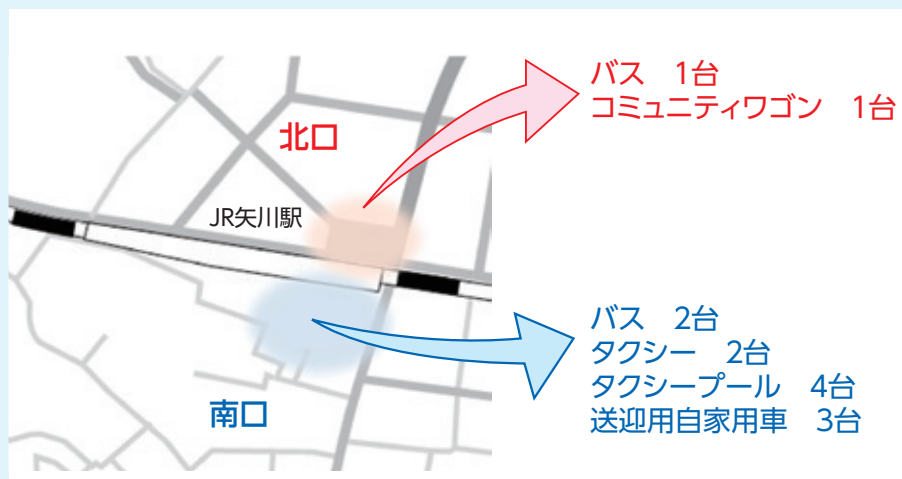
交通広場

だれもが安全で快適に利用できる空間づくり(交通結節機能)

交通広場は、人々が移動をする際、鉄道やバス、タクシー、送迎用自家用車など、さまざまな交通手段をつなぐ場所です。そのため、このような自動車の乗降場が配置された交通広場を計画します。北口交通広場は、敷地の拡張を予定していないため、JR矢川駅の交通広場に必要機能を、南北2つの広場に分担します。

にぎわいに満ちた魅力ある空間づくり(都市の広場機能)

交通広場は、JR矢川駅や周辺地域のイメージを表す重要な公共空間です。都市の広場機能をもつ環境空間として、交流、防災、景観・サービスといった機能を、イベント広場や休憩スペース、また、災害時の一時避難・集合スペース、植栽などの緑や、乗降場のシェルター、案内サインや郵便ポストなどにより創り出します。

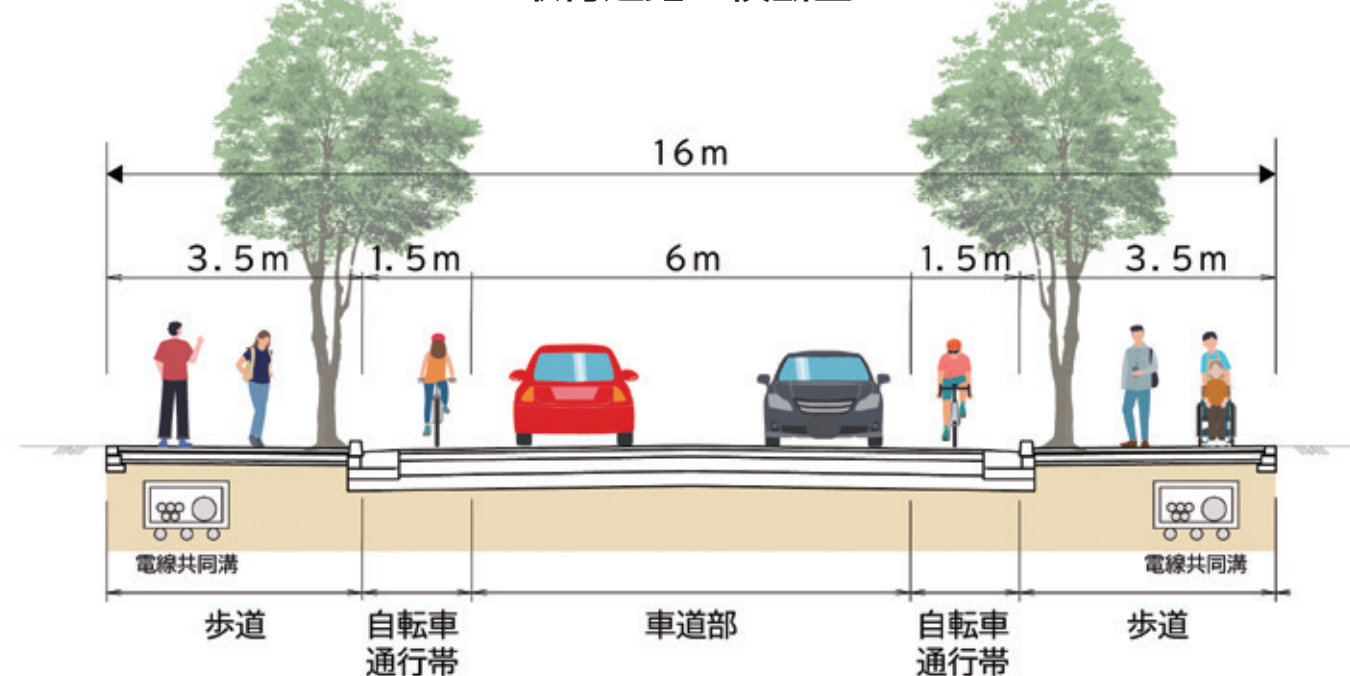


周囲と一体となった空間づくり

交通広場に隣接する道路の歩道は、交通広場の歩行者空間と一体的に、連続的に整備することで、広場空間と連続する防災性の高い歩行者空間を創り出すことができます。

取付道路

取付道路の横断図



交通広場へアクセスする取付道路の横断図です。

- ▶歩道: 3.5m
- ▶自転車通行帯: 1.5m (歩道と分離する構造)
- ▶車道: 6m (1車線の幅員は3m)

上記を合わせると全体で16mの幅員となります。歩道部には植樹ます等を設け、街路樹による沿道緑化や、無電柱化に必要な電線共同溝の埋設等を想定しています。